

投資事業評価調書(新規)

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 宮川 耕二 (課長補佐兼橋梁係長 高瀬 陽太郎)	内 線	4 3 6 2 (4 3 7 9)
------	-------------------	---------------------	------------------------------------	-----	----------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区 間	総事業費	約 9.8億円 (うち用地補償費 0.8億円)	
		道路改築事業 (一)上郡停車場線(上郡橋)	赤穂郡上郡町栄町～ 市町 L = 373.5m		所 在 地	着工予定年度
赤穂郡上郡町栄町～市町				H 1 7 年度	H 2 1 年度	
事業目的			事業内容等			
<ul style="list-style-type: none"> ● 本区間は、上郡町の拠点と播磨科学公園都市を結ぶ重要な幹線道路であり、その機能の強化を図り地域の発展を支える。 ● 老朽化が著しい上郡橋を架け替えることにより、円滑かつ安全な交通の確保を図る。 ● 河川の流下能力について、当橋梁付近では、当面の目標である1/23確率の45%程度と治水上のネックとなっている。このため、河川改修事業の進捗に合わせて、上郡橋を整備することにより治水安全度の向上を図る。 			事業延長 L = 3 7 3 . 5 m 道路改築 L = 1 9 2 . 0 m 橋 梁 L = 1 8 1 . 5 m 【計画幅員】 W = 6.0(14.0)m(2車線 + 両側歩道) 【計画交通量】 8,600台/日 【現況幅員】 W = 6.0(8.0)m (2車線 + 3.5m単独歩道橋) 【現況交通量】 自動車交通量 12,775台/日 自転車歩行者交通量 1,042人台/日 【負担割合】 国5.5/10 県4.5/10			
評価視点						
(1)必要性 安全・安心の 確保		<ul style="list-style-type: none"> ・当路線は緊急輸送路に指定されており、大正15年に架けられ老朽化が著しい当橋梁を架け替えることにより、円滑かつ安全な交通の確保と併せ、防災・医療福祉等の輸送路機能の向上が図れる。 ・河川改修事業に併せて阻害橋梁を整備することにより、治水安全度を高め、県民の生命及び財産を守る。 				
暮らしと交流を 支える		<ul style="list-style-type: none"> ・上郡駅前市街地より放射状にのびている道路網の中で、その中心軸となる当該区間を整備することにより、千種川により隔てられた上郡町内の地域活性化に寄与する。 				
地域ニーズ		<ul style="list-style-type: none"> ・上郡町総合計画では、市街地の交通状況を改善するため幹線道路整備を課題として取り上げ、広域幹線道路の一部をなす上郡橋の早期整備を強く求めている。 				
(2)有効性・効率性 有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比 B / C = 3 . 1 (上郡橋を含む河川改修区間全体の値) 				
代替性		<ul style="list-style-type: none"> ・当該橋梁周辺では、住宅や商店が密集している。幹線道路網及び地形的要因からも現道ルートを尊重し、都市計画道路に位置づけされた現道ルート案が最適である。 ・上部工の形状については、構造的、施工性、維持管理、経済性を比較検討した結果、総合的に優れる5径間連続鋼鈹桁を採用する。 				
効率性 (事業執行環境)		<ul style="list-style-type: none"> ・河川事業において、下流部より橋梁架け替え箇所まで順次整備が進められている。 ・右岸側の河川敷地は既に買収済みであるなど、円滑な事業執行に向け用地取得の面で地元の協力体制が整っている。 				
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁は耐候性鋼材等を使用することで、塗装の塗り替えが不要となり、ライフサイクルコストの縮減が図られ環境保全に寄与する。 				
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> ・(二)千種川広域基幹河川改修事業において下流から計画的に整備を進めており、当該橋梁区間は平成17年度に着工する予定である。 				